

分野:総合病態診療学

主科目 副科目	精神神経科学 Psychiatry		区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)						
担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他							
板橋	◎ 林 直樹 栃木 衛 伊東ゆたか (病院教授)	赤羽 晃寿 (病院准教授)	渡邊 由香子	金井 理恵 金田 渉								
-												
-												
	精神神経科学Ⅰ (1年次)			精神神経科学Ⅱ (2年次)			精神神経科学Ⅲ (3年次)					
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	指導医のもとで病棟主治医としてベッドサイド教育を履修するとともに、精神神経疾患の診断・治療を行うために必要な基本的な精神療法、薬物療法、心理社会的治療を学習・習得する。基本的な知識や技能をクルズスの形で実施し、それに伴う症例に基づく演習を実施し、実習はon the job trainingとして実施する。			「精神神経科学Ⅰ」においては、罹患率の高い基本的な疾患である統合失調症や気分障害を中心とした研修を行うが、「精神神経科学Ⅱ」ではさらにそのほかの疾患について診断・治療手技を指導医のもとで習得するとともに、症例検討会や精神療法セミナーなどでスーパービジョンを受ける。応用的な知識や技能をクルズスの形で実施し、それに伴う症例に基づく演習を実施し、実習はon the job trainingとして実施する。			精神療法、薬物療法、心理社会的治療の知識や治療技術をさらに向上させるとともに、チーム医療への積極的関与や、多職種チームでの心理社会的治療のトレーニング、アウトリーチサービスの経験などを積む。これまでの臨床経験を踏まえ、指導医から独立して、診断や治療が行えるようになると共に、前期研修医や医学部学生の指導にもあたる。					
到達目標	指導医の基で基本的な疾患について精神科症候学、診断学、治療学の基本を学び、知識を身につけるとともに、それが実施できるように修練する。			精神医療の現場で出会う様々な疾患についての知識と治療の基本的な技術を学習する。			指導医より独立して様々な精神科の診断学・治療学を実施できるようにする。指導者のもとで、心理教育、社会生活技能訓練や薬物教室などが実施できるようにする。					
事前事後学修	指定の教科書について学習する他、指定の基本文献を学習する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			症例ごとに必要な文献を検索し、学習する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			症例ごとに必要な文献を検索し、学習するとともに、それを医学生や前期研修医に発表する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。					
評価方法	実際に受け持つ症例のケースレポートに基づき、知識や実施技術进行评估する。 受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 50% 口頭試問 30%			実際に受け持つ症例のケースレポートに基づき、知識や実施技術进行评估する。 受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 50% 口頭試問 30%			実際に受け持つ症例のケースレポートをまとめるとともに、臨床的な疑問を検索し、その結果に基づき、知識や実施技術进行评估する。後輩を指導する技術进行评估する。 受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 50% 口頭試問 30%					

■主な演習(講義・実習含む)

	精神神経科学Ⅰ (1年次)	精神神経科学Ⅱ (2年次)	精神神経科学Ⅲ (3年次)
板橋	火 曜日 9 : 00 ~ 10 : 30 主要疾患の概要	火 曜日 10 : 30 ~ 12 : 00 症候学(精神医学全般)	月 曜日 9 : 00 ~ 10 : 30 様々な精神疾患の診断学
	火 曜日 9 : 00 ~ 10 : 30 診断学実習	火 曜日 10 : 30 ~ 12 : 00 治療学実習その1	木 曜日 9 : 00 ~ 10 : 30 治療学実習その2
	月 曜日 9 : 00 ~ 10 : 30 症候学演習	月 曜日 10 : 30 ~ 12 : 00 診断学演習	木 曜日 9 : 00 ~ 10 : 30 治療学演習
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

講義内で紹介

その他履修上の注意事項

よき臨床医としての生涯研修の初期段階として、症例から学ぶこと、基本文献を学習すること、後輩や仲間と連携していくことを学ぶこと。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	神経学
	共通科目	精神医学・医療心理学特論

関連する専門医資格

精神保健指定医、精神科専門医

キャリアパス(モデルコース)

